

阿部県政半年 報告書

(2011年2月18日～20日調査)

I	調査の設計	1
II	調査のポイント	3
III	調査の概要	4



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

◆ 調査の目的

阿部守一県知事が昨年 9 月に就任してから 3 月 1 日で半年を迎える。大接戦の選挙戦を制した知事の姿勢と手腕が注目された 6 ヶ月だった。

「確かな暮らしと県民主権」を目指す県政は築かれているのか。説明責任とリーダーシップは発揮されているのか。公約の「信州型事業仕分け」「副知事に女性登用」などを県民はどう見ているのか。

国政の混迷が続き地方へのしわ寄せも避けられない。いぜん雇用や経済が厳しい環境の中、県民が新しい阿部県政をどのように受け止め、長野県の将来を拓くために何を望んでいるのか世論動向を探る。

◆ 調査の設計

▽調査対象	県内に住む 20 歳以上の男女 800 人
▽抽出方法	県内を東北中南の 4 地区に分け、さらに 20 代～70 歳以上の 6 つの年代層・性に分割し“県下の有権者の縮図”となるように人数を比例配分して、各市・各郡の対象者数を設定。
▽調査方法	個別電話聞き取り・RDD (ランダム・デジット・ダイヤリング) 法で実施。コンピューターで無作為に発生させてかける電話調査法で、電話帳に番号を載せていない人も調査できる。無作為に発生させた番号のうち、設定した年代・性の人を選び、目標の 800 人に達するまで抽出して聞き取りを行った。
▽調査地点	19 市 9 町 6 村
▽調査時期	2011 年 2 月 18 日～20 日
▽有効回答	803 人 (男性 388 人 女性 415 人)

<注>①報告書のパーセント数字は小数点第 2 位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。

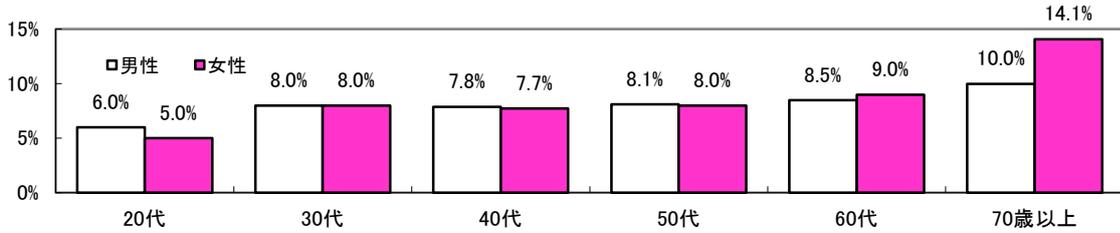
②文中のパーセント数字は原則として小数点以下を四捨五入した。

③政党支持のうち第 6 位 (社民党) 以降のデータは、有効回答数が少ないため参考値扱いとする。

◆ サンプルの内訳

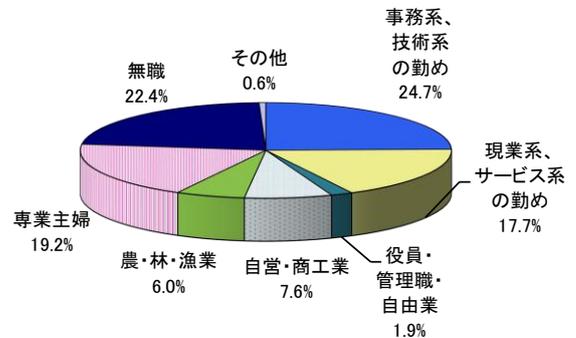
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	803	88	128	125	129	140	193
	100.0%	11.0%	15.9%	15.6%	16.1%	17.4%	24.0%
男性	388	48	64	63	65	68	80
	48.3%	6.0%	8.0%	7.8%	8.1%	8.5%	10.0%
女性	415	40	64	62	64	72	113
	51.7%	5.0%	8.0%	7.7%	8.0%	9.0%	14.1%



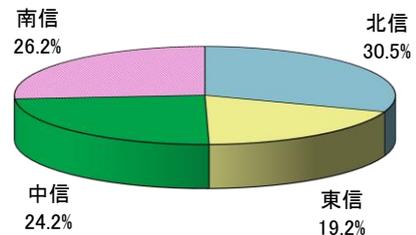
【職業】

事務系、技術系の勤め	198	24.7%
現業系、サービス系の勤め	142	17.7%
役員・管理職・自由業	15	1.9%
自営・商工業	61	7.6%
農・林・漁業	48	6.0%
専業主婦	154	19.2%
無職	180	22.4%
その他	5	0.6%



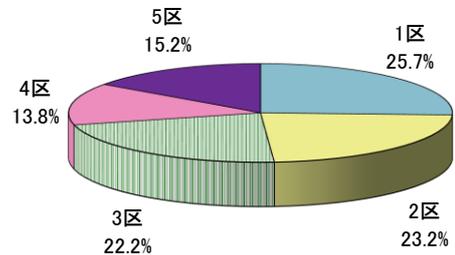
【地域】

北信	245	30.5%
東信	154	19.2%
中信	194	24.2%
南信	210	26.2%



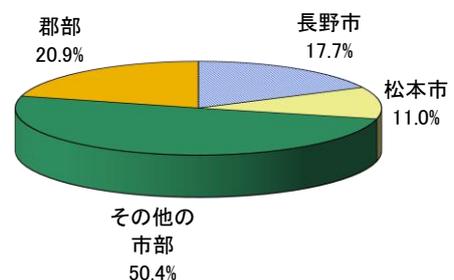
【選挙区】

1区	206	25.7%
2区	186	23.2%
3区	178	22.2%
4区	111	13.8%
5区	122	15.2%



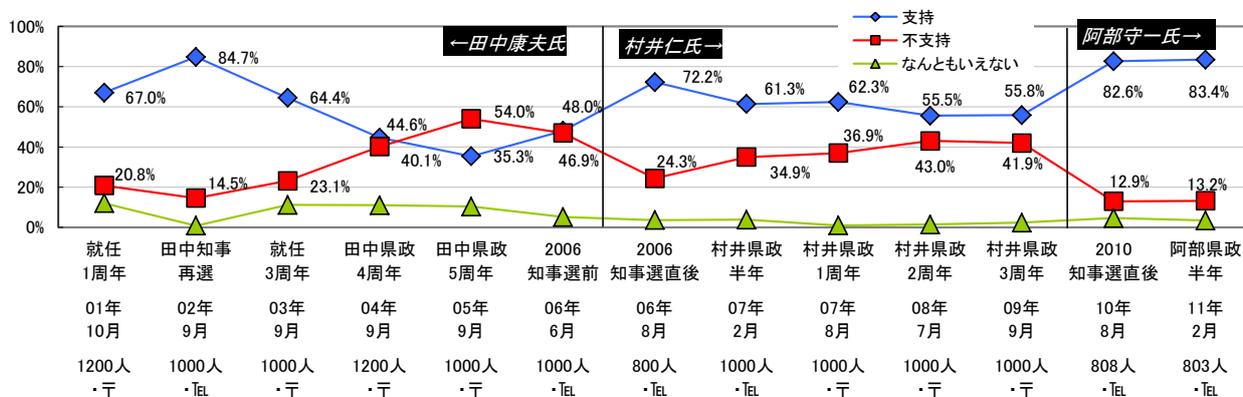
【市郡】

長野市	142	17.7%
松本市	88	11.0%
その他の市部	405	50.4%
郡部	168	20.9%



II 調査のポイント

◆阿部知事の支持率、高水準の 83%



<注> 田中県政当時は「なんともいえない」を郵送調査(〒)のみ選択肢として明示

	01年10月	02年7月	02年9月	03年9月	04年9月	05年9月	06年6月	06年8月	07年2月	07年8月	08年4月	08年7月	09年4月	09年9月	10年4月	10年8月	今回
支持する	36.6%	36.5%	50.5%	29.7%	15.1%	11.6%	14.1%	35.9%	20.6%	19.6%	22.4%	17.8%	15.9%	16.0%	26.1%	40.5%	39.7%
どちらかといえば支持する	30.4%	29.9%	34.2%	34.7%	29.5%	23.7%	33.9%	36.3%	40.7%	42.7%	41.3%	37.7%	40.2%	39.8%	31.8%	42.1%	43.7%
どちらかといえば支持しない	10.1%	10.5%	8.0%	11.4%	17.5%	18.0%	25.9%	14.0%	24.6%	24.9%	24.6%	30.7%	28.7%	28.7%	21.3%	8.4%	9.3%
支持しない	10.7%	9.6%	6.5%	11.7%	22.6%	36.0%	21.0%	10.3%	10.3%	12.0%	10.3%	12.3%	10.8%	13.2%	18.5%	4.5%	3.9%
なんともいえない・わからない	12.0%	13.5%	0.8%	11.1%	11.0%	10.3%	5.1%	3.6%	3.8%	0.9%	1.4%	1.4%	4.4%	2.3%	2.4%	4.6%	3.4%
不明	0.2%	-	-	1.3%	4.3%	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

阿部守一県知事就任後半年の支持率は「支持する」39.7%、「どちらかといえば支持する」43.7%を合わせ 83.4%に上った。知事選直後の10年8月の調査 82.6%より 0.8ポイントアップ、極めて高い水準を維持している。協会の調査で最高だった田中康夫元知事再選直後の 84.7%に迫る支持率だ。

具体的な政策課題への取り組みについては、浅川ダムの事業継続判断に賛否が真っ二つ、県民世論がなお割れていることが明らかになった。リニア中央新幹線では国の審議会がまとめた南アルプス貫通ルートを「評価する」が全体で半数を超え、信州型事業仕分け、女性副知事起用方針にも6割以上が評価している。

力を入れてほしい政策は「高齢者福祉や医療」と「産業振興と雇用」への要望がさらに強くなった。

4月に選挙を控えた県議の役割は「県行政と県民のパイプ役」がやや減少、「県行政に政策を提言する役割」を望む人が増えている(10年8月との比較)。

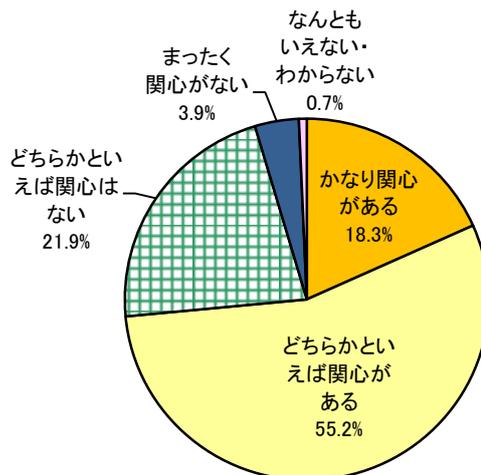
以下質問ごとに概要を紹介する。

Ⅲ 調査の概要

県政への関心 (問1)

◆「関心がある」7割超す

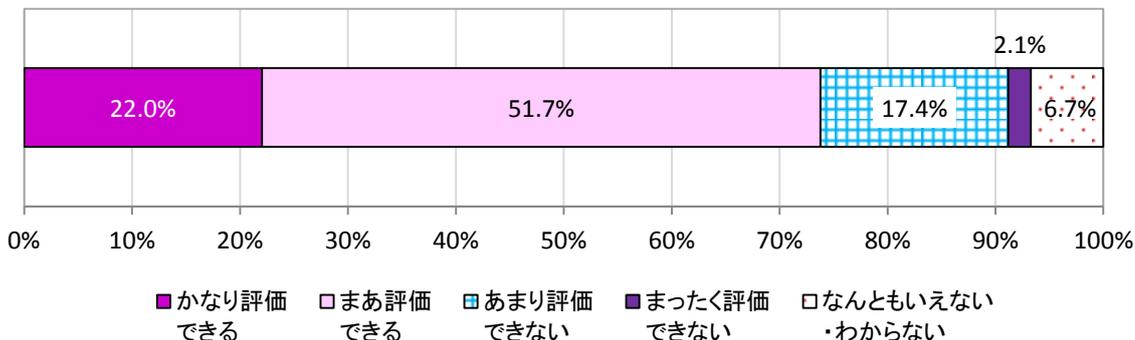
県政への関心度は「かなりある」18%、「どちらかといえばある」55%と全体で73%。年代、職業や地域別でもコンスタントに6割を超えている。「関心がない」が比較的高いのは20代と30代だが、それも35%程度だ。



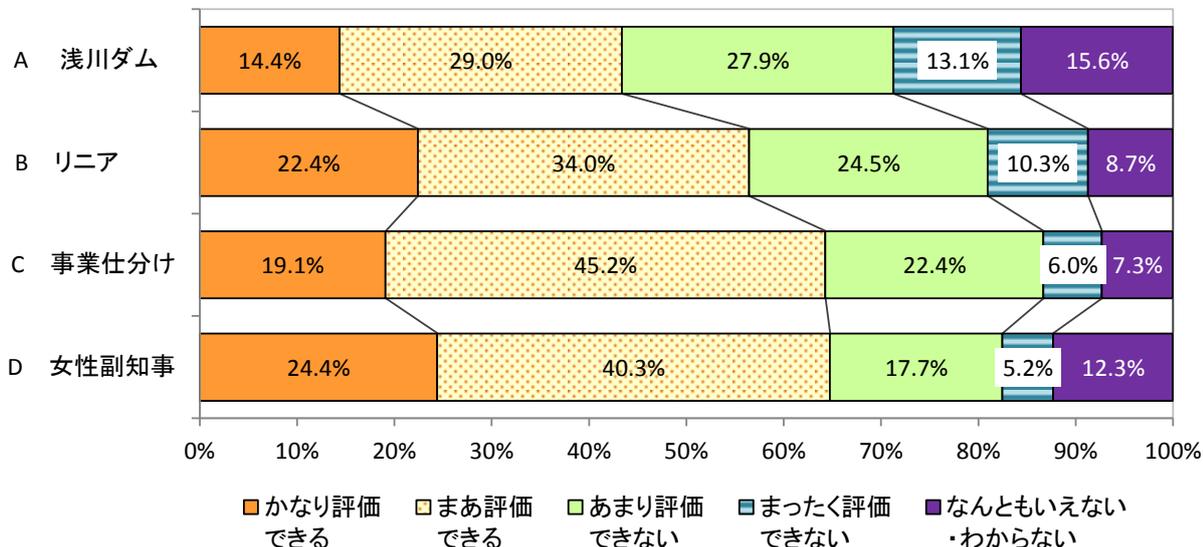
阿部県政の評価 (問2~4)

◆新年度予算案「評価」が74%

前年度比1.8%削減の一般会計と県債発行額を5年ぶりに減らした11年度予算案について「評価できる」が全体で74%。性別では男性の評価が女性よりほぼ10ポイント高い79%だった。支持政党別でもすべて60%を超え、民主党とみんなの党支持者は83%が評価している。



◆浅川ダム建設継続判断に賛否割れる



課題になっている4項目を聞いた。浅川ダムの建設継続判断について「評価できる」が全体で43%、「評価できない」は41%で意見が割れている。建設地の長野市でも47%対44%、阿部知事を支持する人も45%対39%と拮抗している。共産党・社民党支持者、支持政党なし層は「評価できない」の方が多い。

◆リニアは南ア貫通ルート評価が過半数

国の審議会が南アルプス貫通ルートを打ち出したリニア中央新幹線は「評価できる」が全体で半数を超える56%、選挙区別で飯田地方が含まれる5区は66%に上る。ただ諏訪地方を含む4区は「評価できない」が49%で「評価できる」を5ポイント余上回る。

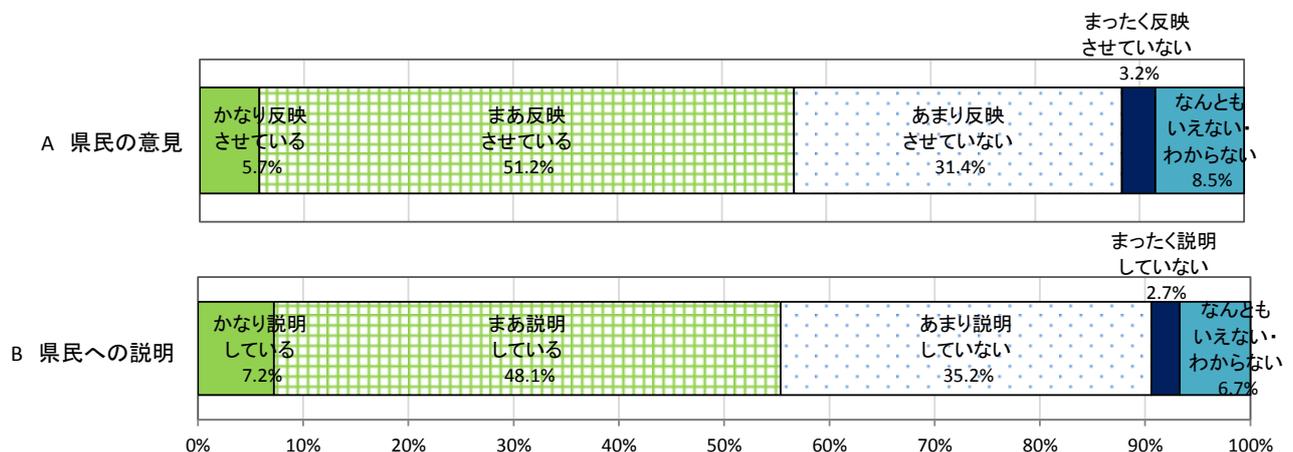
1月に実施した信州型事業仕分けについては「評価できる」が全体で64%、「評価できない」の28%を大きく上回った。職業別では専業主婦が7割を超える評価をしている。

初の女性副知事に加藤さゆり氏登用の方針は全体で65%が評価、女性より男性の方がやや高い。与野党を問わず各党支持者の評価も5割を超えている。

◆「県民の意見反映」57%、「県民への説明」55%

阿部県政が県民の意見を反映させているか、自分の考えや政策を説明しているかを聞いた。県民の意見を「かなり反映させている」は年代、職業など各属性とも一けたの数字だが「まあ反映させている」まで含めると過半数に達する。「反映させていない」が高いのは選挙区の5区で4割程度。

県民へ「説明している」は全体で55%と、意見反映とほぼ同じ傾向だ。説明が不十分と思っているのは事務系・技術系の勤め人、選挙区の5区に多い。

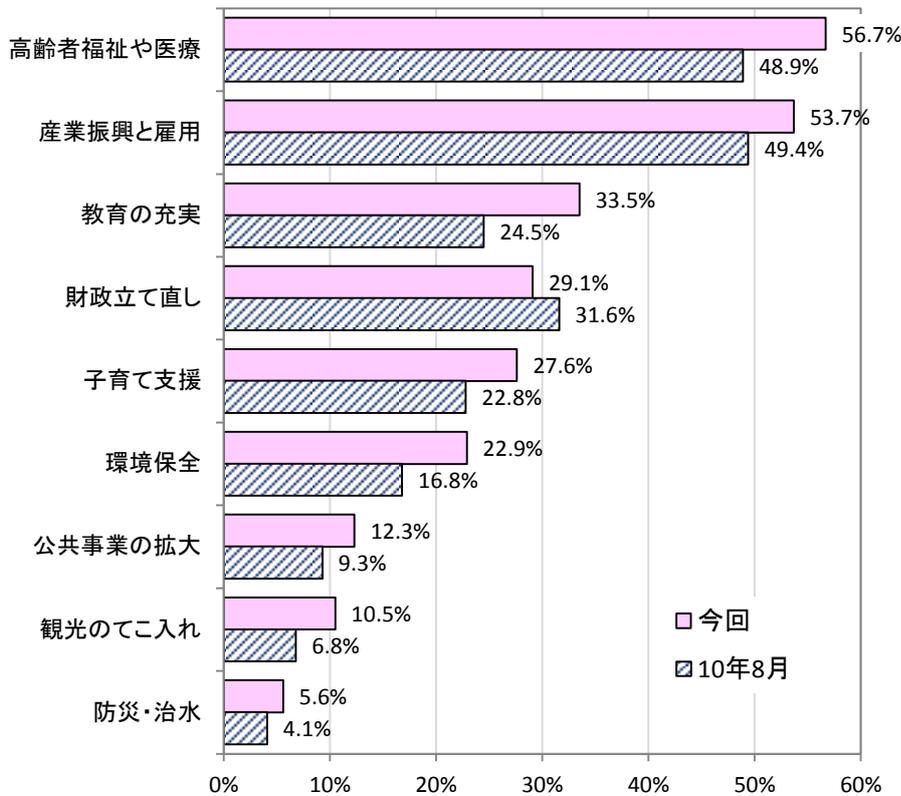


力を入れてほしい政策 (問5)

◆「高齢者福祉や医療」「産業振興と雇用」、3番目に「教育」

阿部県政に力を入れてほしい政策は「高齢者福祉や医療」「産業振興と雇用」が50%を超える。昨年8月の知事選直後の調査より要望が強くなった。次いで「教育の充実」が入り「財政立て直し」「子育て支援」と続く。

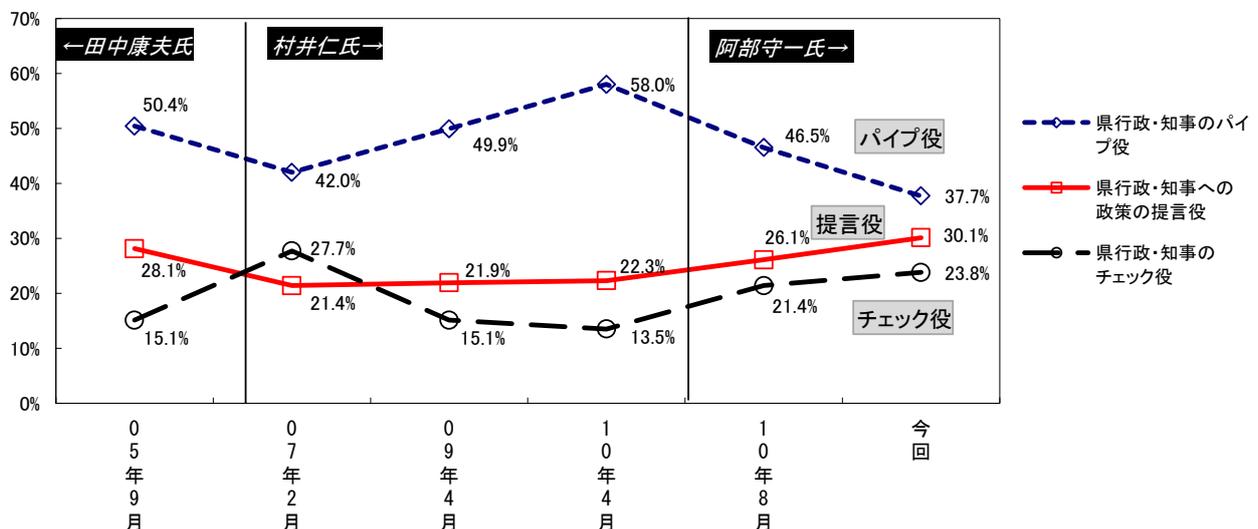
男性、20代、40代、50代は「産業振興と雇用」を1位に挙げている。30代は「教育の充実」がトップ、「子育て支援」も3位で子供の教育問題に直面している環境を反映している。



県議会の役割 (問6～7)

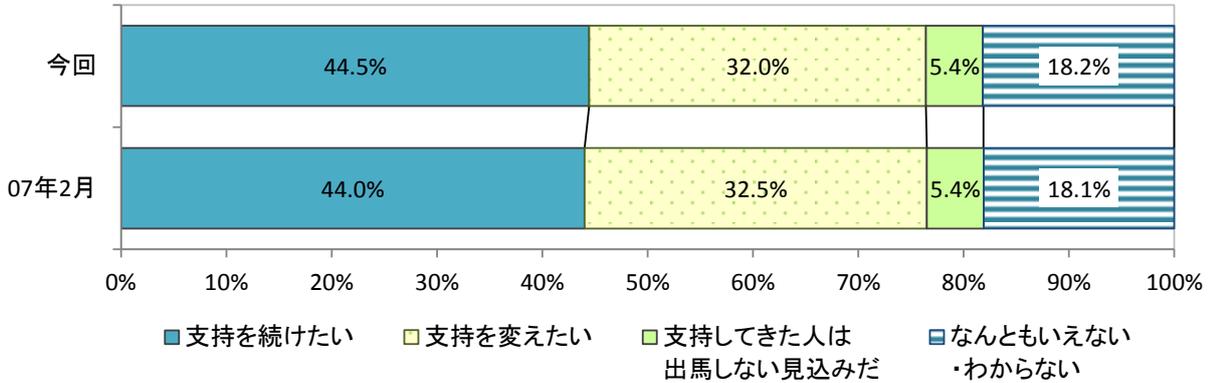
◆「パイプ役」減り「政策提言」増加

阿部県政に対して県議会の役割は「県行政と県民のパイプとなる役割」を期待する人が、昨年8月調査より9ポイント減り「政策を提言」が4ポイント増えた。女性は「パイプ役」、男性は「政策を提言」が優位で対照的だ。



◆ 4月の県議選で「支持を変えたい」32%

地元から選ばれる県議について、前回との比較を聞いた。これまでの「支持を続けたい」45%、「支持を変えたい」32%と07年調査とほぼ同じ結果となった。男性は「支持を続けたい」が半数近く。前回の県議選時は党がなかったみんなの党支持者は、38%が「変えたい」としている。



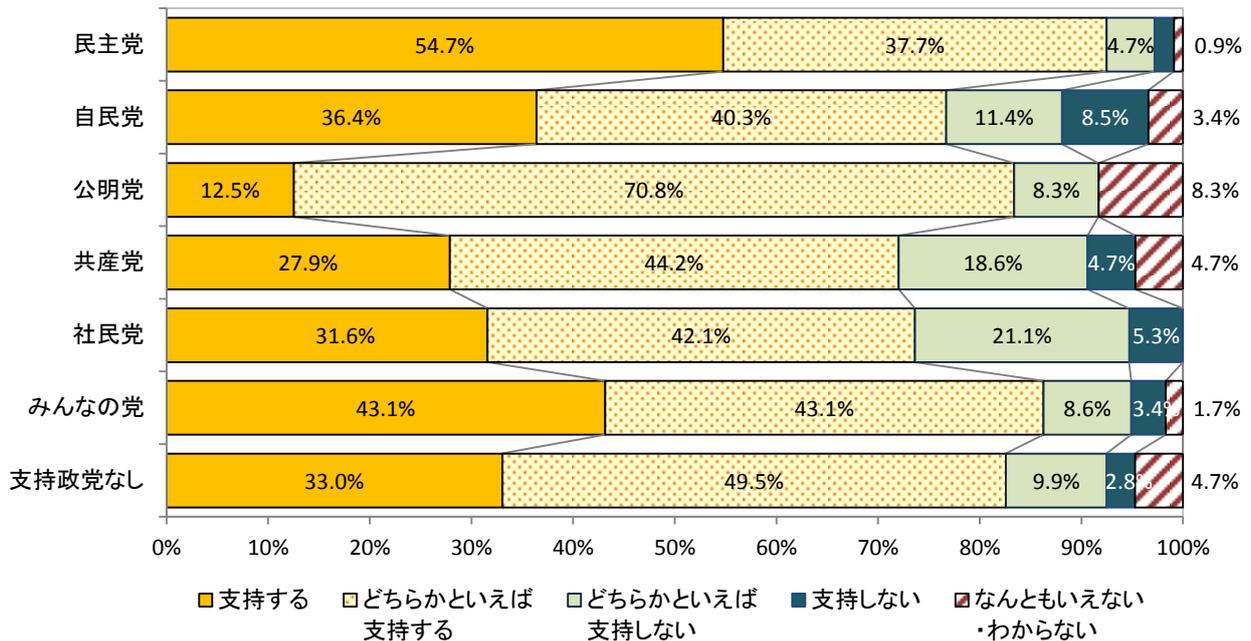
阿部知事の支持率 (問8)

◆ 農・林・漁業従事者は90%超す

報告書のポイントで前述したように阿部知事の支持率は83%に達する。3ページのグラフで分かるように03年以降で最高だ。積極的な「支持する」もほとんど減っていない。70歳以上が89%、農・林・漁業従事者が91%で一際高い。

支持政党別で見てもほとんどが70%以上で自民党支持者も77%、一番低い共産党支持者でも72%が阿部知事を支持している。「支持政党なし」層も83%が支持しており、すべての属性から高い支持率を得ている。

◆ 支持政党別では

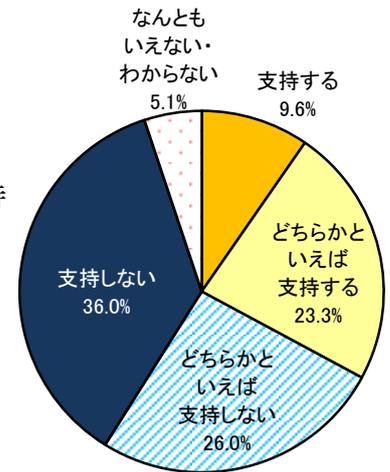


菅内閣の支持率 (問9)

◆「支持する」全体で 33%

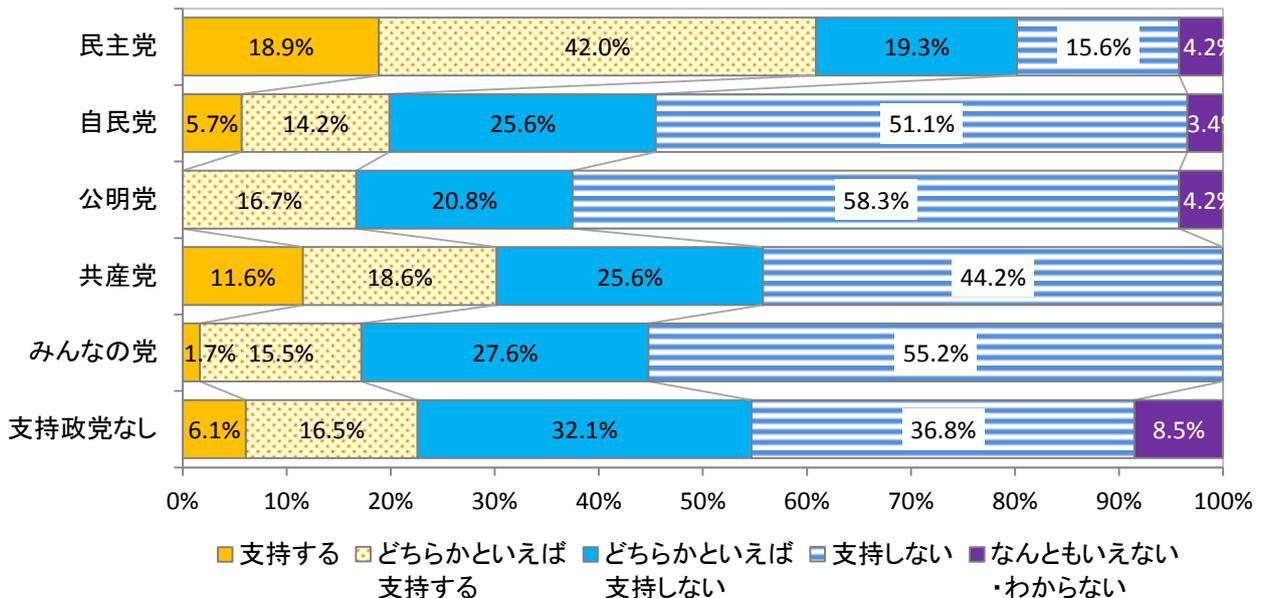
菅内閣の支持率は「支持する」10%、「どちらかといえば支持する」23%で全体では33%。40代の支持率が際立って低く20%程度だ。高いのは農・林・漁業者で48%。また民主党支持者は61%が支持しているが、自民、公明、みんなの党支持者は圧倒的に不支持が多い。

昨年4月に調査した退陣2ヵ月前の鳩山内閣支持率は37%、今回の菅内閣支持率はそれを下回る。



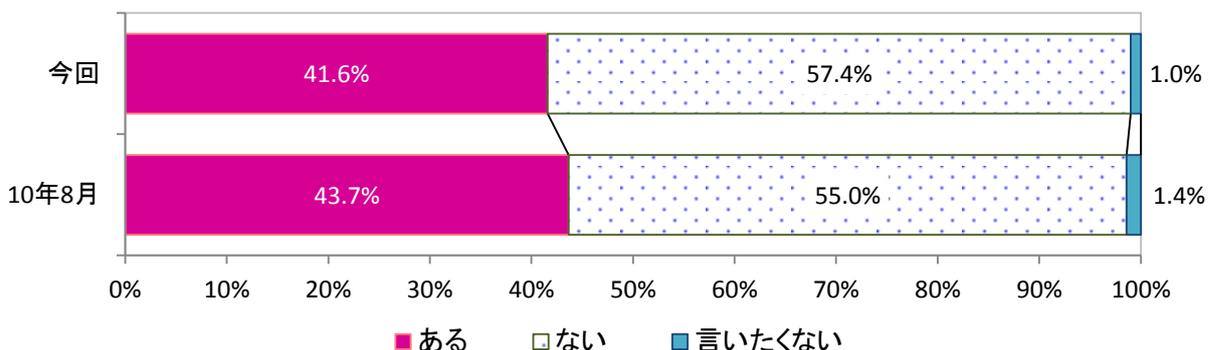
(注) 全国紙の調査は「支持する」「支持しない」の二者択一で聞いている。協会は4択で聞いており、この選択肢の違いが数字の差になって表れると思われる。積極的な「支持する」だけを見れば10%に達せず、民主党支持者でも18.9%にとどまる。

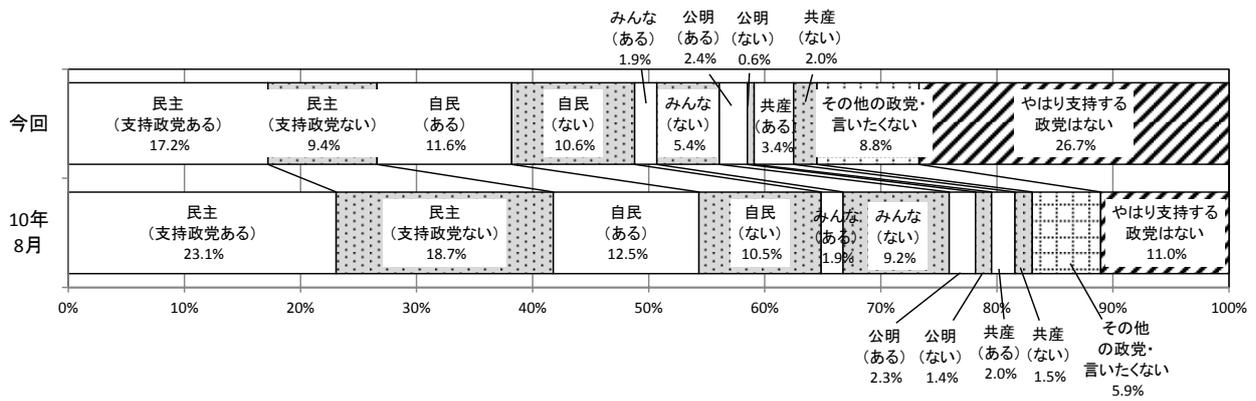
◆支持政党別では



支持政党 (問10~12)

◆「ない」が微増の 57%





支持政党が「ある」「あえて支持」を合算した支持率は民主党 27%、自民党 22%、みんなの党 7%、共産党 5%、公明党 3%となった。昨年8月に比べ民主党が 15 ポイント減、ほかは共産党が微増、あとは微減しみんなの党は 10%を割った。「やはり支持する政党はない」は民主党支持と同じ 27%で“第一党”に並んだ。

今回

10年8月

